

大事協だより

大島地区公立小・中学校事務職員協会 研修部
第31号 2010年12月6日発行

執行部から（理事会報告）

副会長 奄美市立節田小学校 鳥越正人

10月25日(月)第2回理事会を開催し、活動経過・会計報告等を協議しました。5月の総会以降の主な活動は以下の通りです。

- 6/9 大事協だより第29号発行
- 6/11 県事協事業説明会（牧）
- 7/22,8/3,8/26 県事協県費事務改善検討委員会（城森）
- 8/6 県事協評議員会、総代会（鳥越）
- 9/28 第2回執行部会
- 10/27 大事協だより第30号発行

会計に関しては当初、弘済会の事務補助金が例年並みの会員一人あたり5,000円と見込んで予算を立てていましたが、今年度から2,000円に引き下げられましたので、その減額分を更正予算として承認いただきました。予算減に伴い地区活動費を一名あたり23,000円から20,000円とすることについても承認いただきましたが、互助組合からの補助金入金が遅れていたため、研修会当日にお配りできませんでした。11月中には各理事宛、送金できていることとします。執行部の不手際でいろいろとご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。

★

6月に第1回アンケートを実施いたしました。多くのご回答・ご意見をお寄せいただきありがとうございます。

開催時期・場所・各説明等、概ね不満は無いという結果でした。今回は課長から提起のあった「研究発表」について思うところを書いていただきました。賛否いろいろとありましたが、設問が曖昧であったためみなさん答えに困ったかもしれませんね。理事会でもそういう意見があったので、事務局がどの程度の時間・内容等を考えているのかははっきりさせてからまた各市町村で話をしたらどうかということになりました。ただ、事務局が言うから云々ではなくて私たちが主体的に「やるほうがいい、やる必要もない」を判断し、もしやるのであればどういう時間配分で、どういう内容で、どういう地区割りなどで決定していく方がよいのではないかと意見がありました。私もそのように思います。アンケートで書いていただいた意見はそのまま事務局にもあげてあります。地区研修会がよりよいものになっていくよう今後も取り組んでいきたいと思っております。

<各地区からのたより>

今回の原稿は、①伊仙町②奄美市笠利ブロック③大和村④龍郷町から届きました。ありがとうございます。

次号は、2月発行予定です。原稿は、①徳之島町②喜界町③与論町へお願いいたします。

各市町村の研修会での様子、様々な取り組み、写真、趣味等、年末年始に思うことなど、原稿お待ちしております。

(1) 伊仙町事務職員部会（新規採用者のこえ）

「学校事務として」

伊仙町立面縄中学校 上菌 良平

学校の事務職員として働き出して半年が経ちました。

当初、学校に勤務することは、楽しみでもあり、不安でもありました。なぜなら、学校での事務職員という位置づけが私にははっきり見えなかったからです。しかし、実際勤務していくと、保護者・先生方の協力や生徒達の元気をもらいながら仕事ができ、そこに喜びを感じられるようになりました。

また、近隣校の事務職員の先生方も何もわからない私にゼロから丁寧に教えてくださいました。おかげで、この半年で初めての島での一人暮らしと学校現場での仕事に徐々に慣れていくことができました。

今、自分が学校に配属されている意味を改めて考えてみると、学校経営に参画できることだと思います。例えば、学校内での予算配分・執行を任されていますが、吟味・検討・助言等、事務職員ならではの視点が欠かせないと思います。今はまだ定型的な業務を覚えることで精一杯ですが、徐々に学校全体に目を向け、信頼される事務職員を目指したいと思っております。

今後も地域・行政と学校の橋渡し役となることで生徒の教育に貢献していきたいと思っております。

(2) 奄美市（笠利ブロック）事務職員会

奄美市立笠利小学校 大柳 貴子

笠利ブロック事務職員会は、今年度から佐仁小学校が兼務校となったため10校8名で活動しています。年齢層は50代から20代までおり、研修会では若手の疑問、ベテランの知識が内容を充実させたものにしていきます。活動は月1回の研修会、認定事務・年末調整事前審査会、年1回の管外研修視察、夏期休業中の1日パソコン研修、それと季節ごとの飲み会を行っています。今年の研修テーマは「学校事務支援室」と「事務の手引き修正」です。「事務の手引き」は担当を決めて毎年修正をおこなっていますが、その話し合いの際に様々な事例が出され、単なるマニュアル作成以上の効果があると思っております。

★

今年は10月初旬に管外研修視察を行いました。

1日目は鹿児島市立中洲小学校で鹿児島市での事務を、2日目は薩摩川内市祁答院地区の学校事務支援室で支援室実施後の活動を視察しました。月2回の実施で諸手当認定事務（6月に諸手当現況確認も）、給与・勤務を中心とした相互点検、修学

旅行業者選定及び精算，支援室だより発行，備品の一括見積り，各学校の施設営繕関係の共同検討など「焦らずゆっくりと出来ることから」活動しているとのことでした。薩摩川内市では平成18年度から着実に研究を行っており，市教委とも十分に協議を重ね，支援室を導入した様子がうらやましく感じました。

奄美大島の北部，美しい海岸に囲まれ，光あふれる笠利に是非一度お越しください。



【管外研修視察：鹿児島市立中洲小学校】

(3) 大和村事務職員部会

大和村立大和小中学校 永綱 智也

私たち大和村事務職員部会は若い3名で活動しています。構成メンバーの紹介をすると，しっかり者の中棚先生，頼りになるお姉さま坂野先生，名ばかりの部長の永綱です。わきあいあいと月に1回のペースで研修会を行っています。

★

のほほんとした雰囲気の大和村事務職員部会ですが，今年度はものすごく大きな壁がたちふさがっています。それは来年度に大和村内中学校の統合が控えていることです。現在の大和村は小中併設校が5校（うち1校は休校）ですが，来年度からは村内中学校を統合し，5小学校1中学校になります。統合中学校の名称は新設「大和中学校」。名称は現在ある大和中学校とかわりませんが，併設校から単独校へとなるので新設大和中学校として生まれ変わります。そのため，今年度は学校統合へ向けての研修を主に行っています。

年度当初はなにをすればいいのかわかりませんでした，8月の管外研修視察で垂水市立垂水中央中学校，鹿屋市立市成中学校，曾於市立財部中学校を訪問し，学校統合での具体的な事務職員の役割を学ぶことができました。現在は，教育委員会ならびに各学校と連携をはかり，スムーズに学校統合が行われるよう備品の整備，県費・各種会計関係について取り組んでいます。

どうか皆様，私たち3人が無事に来年度を迎えられるように見守ってください。

(4) 龍郷町事務職員部会

龍郷町立龍南中学校 喜入 綾乃

龍郷町事務職員部会です。部長以外女性7名の華やかな部会です☆ 研修会では毎回進行と記録の担当がリードし，充実した研修となっています。私たちは月1回（半日）の全体研修会とブロック研修会を開いています。A（南部）B（中部）C（北部）の3ブロックに分けています。A・C合同で5名，Bブロック3名に分かれて直近の事例等について協議し，全体研修会で検討を深めています。

また，7月の自主検査分から各学校の原本やコピー等を持ち寄って相互チェックをしています。この相互チェックの長所は，新採2年目から勤続20年（？）の大先輩がいる中で，一つ一つの内容について分かりやすく説明しながら確認していくところです。

龍郷町は，事務職員専用のPCが各学校に設置され，町費の執行管理を事務室で財務会計システムを利用してできるのが魅力です。

また学校事務というネットワークには，各学校専用のフォルダが設定されており，事務職員であれば常時閲覧可能な状態です。その中に共有フォルダという便利なフォルダがあり，研修会等の番号付き公文書はこのフォルダから印刷しています。「共有フォルダを見てね」という電話連絡網は回りますが，デジタル化が進んでいます。現在，町費マニュアルを作成するために各分野担当が作業しています。共有フォルダへ保存し，年度末には各学校で印刷する予定です。

こんな部会ですが，ぜひ私たちと合同で研修会をしませんか。お待ちしております！



【 H22.9.25 かがんばなトンネル】